



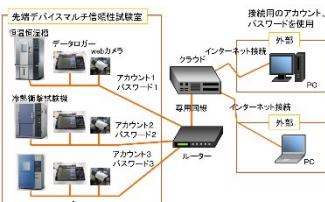
## 環境試験の遠隔常時モニタリングで生産性アップ

## 遠隔常時モニタリングによる環境試験の効率化技術

技術分野分類 1103：情報ネットワーク

技術キーワード 環境強度、信頼性設計、ネットワーク・LAN

産業分類 E-28：電子部品・デバイス・電子回路製造業

内 容	概要	富山県産業技術研究開発センターに整備された試験機器集中管理システムを用いて、遠隔で製品の健全性評価を行えるようにすることで、環境試験を効率化することができます。																	
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	従来は、一定期間環境試験を実施した後に、製品を評価する必要があり、環境試験の途中で製品が故障した場合、無駄に環境試験を実施することになり非効率でした。本技術で、遠隔常時モニタリングすることで、一定の条件下で無駄な環境試験を 76.8% 削減できました。																	
	本技術の有用性	製品の信頼性確保のために、環境試験が広く行われていますが、本技術を用いることで、環境試験を大幅に効率化することができ、新製品の開発スピードや生産性を向上させ、製品の付加価値を高めることができます。																	
	関連情報（図・表・写真等）	 <p>遠隔モニタリングシステム</p> <p style="text-align: right;"> <math display="block">\text{平均残サイクル数} = \frac{\sum_{i=1}^N (N - i)}{N}</math> <math display="block">N: \text{計測間隔(サイクル)}</math> <table border="1"> <thead> <tr> <th>C:計測間隔[サイクル]</th> <th>平均残サイクル数</th> <th>削減率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>100</td> <td>49.5</td> <td>76.8%</td> </tr> <tr> <td>200</td> <td>99.5</td> <td>88.4%</td> </tr> <tr> <td>300</td> <td>149.5</td> <td>92.3%</td> </tr> <tr> <td>400</td> <td>199.5</td> <td>94.2%</td> </tr> <tr> <td>500</td> <td>249.5</td> <td>95.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>無駄な試験の削減率</p> </p>	C:計測間隔[サイクル]	平均残サイクル数	削減率	100	49.5	76.8%	200	99.5	88.4%	300	149.5	92.3%	400	199.5	94.2%	500	249.5
C:計測間隔[サイクル]	平均残サイクル数	削減率																	
100	49.5	76.8%																	
200	99.5	88.4%																	
300	149.5	92.3%																	
400	199.5	94.2%																	
500	249.5	95.4%																	
適用可能製品		おおよそあらゆる製品に適用することができる。特に、電子機器、電子部品、自動車部品への応用が期待できる。																	
技術シーズ保有者	氏名 所属・役職	釣谷 浩之 (つりたに ひろゆき) 富山県産業技術研究開発センター 機械電子研究所 機械情報システム課 副主幹研究員																	
技術シーズ照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	富山県産業技術研究開発センター 企画管理部 企画調整課 0766-21-2121/0766-21-2402 kikaku2@itc.pref.toyama.jp																	

## ■知的財産

## ■試作品状況



提示可

提供可

作成日 2022年11月22日